

日米関係の今後

米国先端政策研究所上級研究員 グレン・S・フクシマ

- *安倍政権登場で浮上した三つの課題
- *交錯する期待と不安
- *Good AbeとBad Abe
- *日本のTPP参加には真逆の反応
- *日本経済の再生に期待するアメリカ
- *歴史問題にみる日米の認識ギャップ
- *米国への留学生が大きく減少
- *ヒラリー候補なら民主党優位
- *アジアを重視するヒラリー
- *米国民党とのパイプが細い日本



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日はグレン・S・フクシマさんにおいていただききました。フクシマさんはスタンフォード、ハーバードで学ばれて、その後、米国通商代表部に所属され、88年からの構造協議のときに日本担当で日本にもいらっしやった方で、皆さんもいろいろなお耳にされていると思います。その後、日本法人エアバス・ジャパンの代表をされておりましたが、現在はアメリカに戻って研究所にいらっしやいます。

日米関係はかつてとは違っていろいろな不協和音もあるような気がいたしますが、アジア地域において日米の関係が緊密かつ正常であるというのは非常に重要なことだと思いますので、今日は日米関係の今後についてグレン・S・フ

クシマさんにお話しいただきます。

レジユメが英語になっておりますので、皆さん英語でのお話しかと思っていらっしゃる方もおられるかもしれませんが、そうではございません。日本語も堪能でいらっしやいます。レジユメのほうは、グレンさんに伺いましたら、翻訳をされると間違っって受け取られることが多いということでした。皆さん英語は堪能であるかどうか私はちょっとわからないのですが、読むほうはおそらく大丈夫だと思いますので、それを見ながら説明を聞いていただくといちばんいい結果が得られると考えた次第でございます。

それではよろしくお願いたします。（拍手）
フクシマ ただいまご紹介いただきましたグ